

令和6年7月3日

各中学校長様

和歌山県中学校英語教育研究会

会長 清水 美晴

高円宮杯 第76回 全日本中学校英語弁論大会和歌山県予選のお知らせ

貴校益々御清栄のこととお喜び申し上げます。早速ながら標記大会の本年度実施事項が次のとおり決まりましたので、御参加くださいますようご案内申し上げます。

記

主催 読売新聞社、JNSA基金（日本学生協会基金）、和歌山県中学校英語教育研究会

後援 外務省、文部科学省、日本放送協会、和歌山県教育委員会、国際ソロプチミスト和歌山

第1 目的

本大会は、国際性豊かな青少年を育てるために、国際語である英語を熟達させるとともに、広くその普及を図り、日本文化の発展ならびに国際親善に寄与することを目的とします。

第2 実施要項

1 予選期日 令和6年10月6日（日）予備日10月13日（日） 受付 12:00 開会 13:00

2 会場 有田市立有和中学校 【和歌山県有田市箕島79番地 TEL0737-82-2075】

3 参加資格

(1) 日本の中学校に在籍する生徒で、学校長が推薦した者。ただし下記(a)~(d)に該当する者は出場できない。

(a) 満5歳の誕生日以後に、通算1年以上または継続して6か月以上、英語圏(※)に居住した者。

(b) 日本国内、海外を問わず、英語以外の教科に関し、実態として英語による教育を行っている学校（アメリカン・スクール、インターナショナル・スクール、または授業科目の半分以上を英語で行っている学校を含む）に6か月以上在籍したことのある者。インターナショナル幼稚園はこれに含まない。

(c) 保護者または同居親族に、英語を母語とする者もしくは英語圏(※)出身の者がいる場合。

(d) 過去に本大会の中央大会にて1位~3位に入賞したもの。

(※)「英語圏」とは、英語を(ア)第一言語、(イ)公用語、または(ウ)公用語に準ずる言語として使用する国・地域をいい、その一覧は以下の高円宮杯ホームページを参照のこと。 <https://jnsafund.org>

(2) 上記の条項に違反して出場した場合、失格とする。

(3) 個別事案における参加資格の有無について、最終的な判断の権限は日本学生協会(JNSA)基金に帰属する。不明な点については、同基金高円宮杯事務局に問い合わせること。

(4) 応募形式

① 別紙参加申込書 (写真添付不要・PDFにしたもの)

※ (緊急時連絡先として、「生徒現住所」欄内、郵便番号の右側に保護者の携帯電話番号を記載して下さい。)

**弁論原稿 (A4縦で1枚に収める・PDFにしたもの)**

- ② 論題 自由 (内容は生徒自身の意見・主張を英語でまとめた未発表のものとする。ただし、今年度の高円宮杯関連大会で発表したものはこの限りではない。剽窃は厳に禁止する。引用はそれとわかる表現で明示する。これらに違反した場合、失格とする。)
- ③ 制限時間 5分 (超過した場合は減点とする)
- ④ 禁止事項
- (a) マイクなど音声機器は使用しない。
  - (b) 視覚に訴える道具の使用及び過度な演出・演技は禁止する。
  - (c) 演壇の前及び横に出てスピーチをすることは原則禁止とする。  
ただし、身体的理由等でやむを得ない場合は考慮する。
  - (d) 上記(a)、(b)、(c)の条項に違反した場合は審査委員の合議により減点対象となる場合がある。
- ⑤ 弁論原稿の著作権は主催者に帰属する。
- ⑥ 参加申込書・弁論原稿の提出 ※メールにて
- ・締め切り期日 8月 23日 (金)
  - ・提出先 有田市立有和中学校 池永 敦子 宛 Mail: [yuwa-jhs@arida.ed.jp](mailto:yuwa-jhs@arida.ed.jp)  
TEL 0737-82-2075 FAX 0737-82-2164
- ⑦ 審査要項
- ・審査員 外国人2名 日本人2名
  - ・審査基準 内容・発音・態度・記憶
- ⑧ その他 参加人数は1校につき、2名以内とする。

第3 表彰

県予選上位1位～3位 (ただし、中央大会出場は1校1人で上位3人)、奨励賞2人

第4 中央大会

- 1 決勝予選大会 11月27日 (水)・28日 (木) 赤坂区民ホール
- 2 決勝大会 11月29日 (金) 有楽町よみうりホール

※肖像権等同意書に同意しなければ、中央大会に代表生徒として進むことが出来ない。

※決勝大会出場者のスピーチの様子は教材としてインターネット等での公開を予定。

問い合わせ先

有田市立有和中学校 0737-82-2075 池永 敦子

読売新聞 073-422-1144 (橋間)